



〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026 URL http://www.utsunomiya-u.ac.jp  
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

# NOW

● vol.5

発行：宇都宮大学  
編集：広報室

## CONTENTS

- 1 世界に響け 宇大のメロディ
- 2 学生のゆうゆう活動紹介  
トップ対談「学生生活の強い味方」
- 4 ベストティーチャーに聞くII
- 5 キャンパスみどころMAP 峰キャンパス
- 7 キャンパスみどころMAP 陽東キャンパス
- 9 SLOW FOOD
- 10 学生アンケート「宇大生は今!」
- 11 INFORMATION
- 12 研究Keyword

# 世界に響け 宇大のメロディ

## 国際舞台での経験を生かし、地域に根ざすフルート奏者

フルート奏者

くりた ともみ  
栗田 智水

フルート奏者の栗田さんは、笑顔が素敵な優しい人。でも話しはじめると熱血先生そのものなのだ。栗田さんのような先生に教えてもらえる生徒は幸運です！世界に羽ばたいた宇都宮大学の卒業生が、地元の教育現場や地域で、いかに活躍しているかを実感した取材であった。(取材／農学部2年・廣田真人 工学部2年・牧内美由紀)

### ■実力の世界、フランス

「生で感じる空気や、聞こえる音とか、その時に見える風景は自分で行ってみたいと分らない。自分だったらどうか、何を感じられるかなって思いました。」

いつもCDで聞いていた好きな作曲家や演奏家は、なぜかフランス人だった。だからフランスに行ってみようと思った。栃木県の姉妹都市ヴォークリューズ県(南仏)への高校生派遣に応募して、憧れのフランスに約2週間滞在。「あー、やっぱりここだ」と思った。

教師をしている母の影響で幼い頃から「校長先生になること

が大きな夢」だった。先生になるんだら、地元の宇都宮大学が最適と選んだ。無事入学するとしばらくしてフランスを思い出し、大学院1年で留学を果たす。フランスでは全てが勉強だった。

「先生になりたくて宇都宮大学を選びましたが、フルートをやっている」と、日本では「音楽大出身でない」と……という先入観がありますから、知らず知らずのうちにコンプレックスを持っていました。でも、フランスではそんなことは誰も気にしなくて、経歴も一切関係ない。コンクールを受けて通れば認められる実力の世界です。ひとり

の栗田智水という人間を見てくれる……。気持ちが楽になりました。」

### ■初めて吹いた曲は「水戸黄門」

小学校4年生のとき、吹奏楽部に入学し、たまたま家にあったフルートを吹きはじめた。

「祖父母がいましたので、学校から帰ると毎日一緒にテレビドラマの「水戸黄門」を見ていました。だから、学級発表会で初めて吹いた曲は「水戸黄門」のテーマなんです(笑)。」

このときの演奏が「フルート奏者」と「教師」という二つの夢が同時に花開く前奏であった。自分から手にしたフルートは好

きで気ままにやっていたと話す。が、並の才能と努力ではない。「もともと練習して、高いレベルに到達して初めて「やめたい」と思っているんですよ。私はつらいときは、まだそこまで到達していないから、そんなことは考えてはいけません。だと思っています。コンクールでも、ものすごく緊張して、二度とフルートなんて吹かないと思っても、終わると、次の曲のことを考えています。」

### ■歌って踊れて

フルートの吹ける教師

宇都宮市で開かれたフランス人フルート奏者パトリック・ガロワ氏のコンサートで、その素晴らしい演奏に魅せられた。「背が高く、ビー玉のような青

い目の貴公子」。このときの出会いが運命の出会いとなる。2年後のフランス留学で教師と学生として再会し、師事することになる。

「私の留学中に、偶然、カナダに住んでいたガロワ氏がフランスに戻って教師を執ることになったんです。氏に師事できたことは私にとって一生の宝物です。学生が一生懸命演奏すると心からほめてくれます。まさに名演奏家であり名教師ですね。人間的にも豊かで、見習いたいと思いました。」

尊敬する演奏家、教師に出会った栗田さん。目指すところは「歌って踊れてフルートの吹ける教師」。4月から高校の常勤講師として勤務。パリではその名も「歌舞伎町24時」というパ

ンドのヴォールマンをやっていたという話には、授業は消極的だった生徒も「えっ」と驚いて目を輝かせる。フランスの約300組のバンドが出場したコンクールで上位に残り、自身は「ベストシンガー賞」を受賞。大学のダンスサークルに所属していたので、ヒップホップまで踊れる異色教師である。ポラントイアで行っている演奏活動は高校生時代から続いている。そして「日本クラシック音楽コンクール」で4位(1位2位該当者なし)のため実質2位に輝く。多彩で豊かな人生経験を教育現場や地域で十分に生かしている。

「いつでも一歩踏み出す勇気が必要です。私も留学してひとつ夢がかないました。」

(文・ピオス編集部/撮影・木原悠策)

### PROFILE

【くりた・ともみ】栃木県茂木町生まれ。宇都宮大学教育学部音楽科卒業後渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席、フランス国立オールネイ・ス・ボア音楽学校を1等賞で修了。06年、宇都宮大学大学院修了。第20回栃木県学生音楽コンクール第1位、第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会第4位。栃木県交響楽団所属。



### 学生のゆづゆづ活動紹介

宇都宮大学には、100を超えるサークルや団体がある。学生は、その活動に何を求め、何を求めるのだろうか。

#### 組織化された活動が、学内最大イベントに結実 新入生歓迎・大学祭実行委員会

宇都宮大学の入学式では、新入生歓迎・大学祭実行委員会委員長が、学長等とともに新入生歓迎のあいさつを述べる。大学の一大イベントである学祭を仕切る実行委員会は、いわば、宇都の「顔」である。

春の「新歓イベント」と秋の学祭「峰ヶ丘祭」の運営が活動の大きな柱。学祭に向け委員会メンバーは、大学側との交渉や財務を担当する総務局、イベントを企画・運営する企画局、パンフレットの作成を担当する広報局、協賛企業とのパイプ役となる渉外局に分かれ活動する。役割分担を明確にし、組織化された活動が、やがて一日の入場者が5千人を超える大きなイベントに結実していく。その過程が実行委員会活動の醍醐味なのだろう。



実行委員長の登内裕哉さん（工・情報工学科2年）は「昨年度初めて学祭に参加してみても、他のサークルでは味わえない、運営者側だからこそその満足感があった。大学側や企業との対応など、仕事の内容が多い分、身につくものがある。苦労した分、やり遂げた時に達成感がある」と話す。各責任者もそれぞれ「裏方の仕事をやってみたら、（広報局長・鎌田幸奈さん）「学祭を運営するということに興味があった」（企画局長・湯浅啓一さん）（農・農業経済学科2年）、「大学の一大イベントを、これだけの人数（当時、実行委員は49人）でやり遂げたことを凄いなと思った」（渉外局長・中村祐希さん）（工・機械システム工学科2年）」と、入会の理由、活動での達成感を語る。



「昨年度は下で動く立場だったけど、やってよかったと思っています。これからは立場がぜんぜん違うけど、悔いだけは残したくない」と登内委員長。「入学式のあいさつ？ プレッシュャーはあるけど、委員長になったからには、しっかりやりま



C.C.S.委員長  
井上晃一さん

井上 新入生としてC.C.S.が開催した新入生交流会に参加し

井上 一人ひとり、入った理由や続けた理由は違うと思

吉田 大学としても皆さんと同じような観点から、新入生にア

### トップ対談 学生生活の強い味方

春。新入生を迎える季節になりました。期待と不安でいっぱいフレッシュマンを、大学、そして先輩たちはどう受け入れるのか。学生生活をサポートする2団体のトップと「Uknow」編集長の吉田和文理事（現・明治大学理事長付大学経営特任補佐）に語り合っていました。

#### 不安な新入生を 勇気付けたい

吉田 Uknowの最新号では、新入生歓迎特集を組むことになっており、その中で新入生の皆さんの不安を解消するような記事を考えているのですが、お二方の団体は、様々な新入生歓迎行事などを通じて、不安な思いで入学してくる方々を勇気付けて

吉田 新入生に対して、自分たちの活動をどうアピールしたいですか。

井上 活動の根底には、新入生の不安を解消することがあります。楽しく交流して友達を作ってもらったり、大学のことを知ってもらったりを目的に活動しています。

井上 建物が老朽化しています。古い建物はこのままで大丈夫なのかという思いがあります。

吉田 他メンバーの方々も同じような意識なのでしょうか。

井上 建物の改修の問題は、国立大学が法人化したとはいえ、まだまだ国に頼らざるを得ない部分なのですが、ご存じの通り国の財政が厳しい中、簡単に解決できる問題ではないことをまずご理解下さい。

井上 一人ひとり、入った理由や続けた理由は違うと思

吉田 大学としても皆さんと同じような観点から、新入生にア

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 新入生にたいして活動するところが、このサークル活動は素敵だな」と思

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。

吉田 友達もできて大学生活がスタートしやすくなりました。大学のサークルの中でC.C.S.を最初知って、顔を出したときに雰囲気がいいなと思い、そのまま入りました。



●出席者  
新入生歓迎・大学祭実行委員会委員長 登内裕哉さん（工学部情報工学科2年）  
C.C.S.委員長 井上晃一さん（工学部建設学科3年）  
Uknow編集長 吉田和文



# CAMPUS



「24時間耐久リレーボウリング大会」企画を立ち上げるときは、メンバーの想いをひとつに統一することを大切に、作り上げていく

「新入生交流会」  
新入生の不安解消のため先輩がアドバイス



## 学生の現状を肌で感じることができる立場から学生生活をサポート C.C.S. (宇都宮大学消費生活協同組合学生委員会)

Co-op Creative Staffs  
<http://udai-ccs.hp.infoseek.co.jp/>

「入学まで何をしていたらいいのか、わからない。友達もいないので不安。」  
C.C.S.は、こんな新入生の不安を解消するため、入学式前に、新入生と先輩である現役学生との交流会を開いている。  
C.C.S.委員長の上見一さん(「工・建設学科3年」)は、「大学の講義のことやサークル活動などについて、直に先輩から話を聞ければ不安も薄れるでしょうし、友人を作るきっかけにもなれば」と話す。  
6人程度に分かれた新入生のグループに、それぞれ2人ずつ在学生会グループリーダーとして参加。趣味や学生生活の話から始まり、徐々にお互いが打ち解けていく。  
昼食を挟んで、「学科交流」に進む。同じ学部・学科の先輩と新入生のグループに再編成し、授業の様子や単位の取り方など、より具体的な情報交換の場となる。

「最初、不安そうな新入生たち、やがて笑顔が見られ、目が輝いてくるのがわかります。そんなとき、C.C.S.の仲間はもちろん、グループリーダーとして協力してくれた一般学生のみんなに、「ありがとう」という気持ちになれる」と井上委員長。  
また、推薦生交流会担当の宇野和康さん(「工・応用化学科2年」)は、「推薦で合格してから時間を有効に活用し、一足早い大学生活のスタートをきってもらえたら」と話す。  
C.C.S.は、「学生の現状を肌で感じることができ、同じ学生という立場で学生生活をサポートする」ことを目的とする。「生協の仕組みやサービスを知らなくてもいい、大学生活をより充実したものにしたい」と齋藤香織さん(「国・国際社会学科2年」)。新入生歓迎冊子「『下野』」の発行や隔月で生協の情報紙をお知らせしている機関紙「Neo Coop」、24時間耐久リレーボウリング大会など学生を対象とした企画のほか、社会問題にも目を向ける。他大学の生協学生委員会との交流による「平和学習」を実施したり、学祭では世界の栄養不足人口の割合を地図に示した「ハンガーマップ」を掲示し、世界の飢餓の現状を伝えた。またユニセフ募金、学内で使われた割り箸の回収によるごみの削減など、環境問題への取組を続けている。  
新入生交流会で出会った友人は、「今でも、いい友達です」という井上委員長。  
「大学は自分のやりたいことがたくさんあります。『なりたて自分』のビジョンをしっかりと持って、充実した大学生活を送って下さい」と新入生にエールを送る。



UUnow編集長  
よしかずふみ  
吉田和文

部分は他の大学と協力して国に働きかけるなど、学生生活の安全・安心は大学の基本であるという観点で取り組んでいきたいと思えます。また、そのような大学側の考えをもっと学生の皆さんに伝える方法も考えなければなりません。  
登内 いま、新しいサークル棟の話ができましたが、使用方法などで制限が付けられています。過去の経緯を考えると制限が付けられるのは仕方ないとも思うのですが、大学側は学生側との交渉の機会をつくって、学生側の想いを受け止めてほしいと思います。  
吉田 お二方の団体は、学生と大学側を結び付けてくれる組織だと思えます。「この辺りのことは学生の代表として我々ができますよ、だから大学側も我々を信頼して対応してほしい」とか、あるいは、「こういう問題が学生側からあがってきているが、我々を窓口として大学側も交渉に臨んでもらえないか」とか、そういう関係を作っていくればと思います。  
大学の法人化というのは、民間のサービス業で言うところの顧客満足度、つまり学生たちの満足度をどのようにアップしていくかということを、大学がもっと真剣に考えるべし、ということだと思っています。その一方で、大学側は、学生の目線に

### 宇大の生活を 充実させるために

立った運営をするため、学生側の意見・要望を聞きたいと思っています。そういう意味で、この「UUnow」の編集委員として学生にも参加してもらったことは、大きな意義のあることだったと思います。  
吉田 それでは、不安感を抱えて入学してくる新入生の皆さんへのメッセージをお願いします。  
井上 宇大の学生は、いい人が多いと思います。宇大はいい大学ということを言いたいです。大学生になれば、活動範囲が広がります。勉強、バイト、サークル、もちろん遊びも。いろいろなことができるので、自分のやりたいことをして、学生生活を充実させてほしい。自分たちの活動も、みんなに充実してもらおうためにやっていければと思います。  
登内 C.C.S.の企画は完成度が高く、みんなで楽しそうに活動していて、見習うべきところが多いと思っています。  
井上 企画を実施するにあたっては、みんなを楽しませるという確固たる目的があって、そこには自分たちも楽しもうという信念があります。それがあらかこそ、常に笑顔で企画を進めていけるのかなと思っています。  
吉田 確固たる目的を持って、常にそれを振り返りながら事を進める、というのは、我々社会人にとっても基本的な事柄なのですが、忘れがちなことですね。なにやら、教えていただいた気がします。

宇大をこんな大学に  
井上 高校のとき、大学のイメージは、研究室にこもったり、



新入生歓迎・大学祭実行委員会委員長  
どのうち ゆうや  
登内裕哉さん

辛いこともありましたが、いろいろな楽しみ方もできます。  
吉田 卒業したあと、現在の活動の経験はどのように役立つか、お思いですか。  
井上 イベントを企画し、それを実現させるまでのプロセスは、社会に出てからも役に立ち、自分の成長にもつながると思います。2つの団体は、お互い似たような活動をしているので、これから企画の立て方など情報交換ができていけば、お互いにより良い活動ができると思います。  
登内 C.C.S.の企画は完成度が高く、みんなで楽しそうに活動していて、見習うべきところが多いと思っています。  
井上 企画を実施するにあたっては、みんなを楽しませるという確固たる目的があって、そこには自分たちも楽しもうという信念があります。それがあらかこそ、常に笑顔で企画を進めていけるのかなと思っています。  
吉田 是非、これからもお二方の団体に協力していただいて、学生生活を充実させるものにしていただきたいと思います。私達も、学生の皆さんの意見を大学の活動に反映させていくことをアピールしていきたいと思っています。今日はありがとうございました。



# 2005 BEST TEACHER



**田坂 聡明**【たさか・としあき】  
農学部 森林科学科 教授  
専門：森林工学、森林利用学、林業機械学



**池田 宰**【いけだ・つかさ】  
工学部 応用化学科 教授  
専門：生物有機化学、超分子化学



**澤田 匡人**【さわだ・まさと】  
教育学部 学校教育講座 講師  
専門：感情心理学、発達臨床心理学



**赤塚 朋子**【あかつか・ともこ】  
教育学部 家政教育講座 助教授  
専門：生活経営学、家庭科教育



## 宇都宮大学 ベストティーチャーに聞く II

宇都宮大学では、FD活動の一環としてベストティーチャーを選考しています。今年度は、「学生による授業評価」の中で、学部専門教育科目を対象に高い評価を得た授業を担当した8名の教員にベストティーチャー賞が授与されました。ベストティーチャー賞を受賞された教育学部・赤塚先生、澤田先生、工学部・池田先生、農学部・田坂先生の4名にお話を伺いました。

——本日はベストティーチャー賞に選ばれた方の中から、4名の先生方にお集まりいただきました。この企画の趣旨として、やはり最初は授業について伺います。先生方が授業に向かうとき、重要とされているポイントを教えてください。

**田坂** 私は、なにより分かりやすく説明することを心がけていますね。45分二コマのうち、学生たちが最初のコマで充分理解できないときは、次のコマでも同じ内容を繰り返すこともありま。そしてもうひとつは、板書を多用することでしょうか。学生たちには自身でノートに書くことにより、ノートを見ないとわからない、そんな世界をつくってほしいんです。

**池田** 当たり前ですが、「自分がきちんと理解していること」を大切にしたいですね。授業というのは、自分で理解しているものをどう伝えるか、だと思いません。ときどき、自分の知識外で質問を受けることがあります。そのとき「ぼくには分かりません。来週までに調べてくる

ね」と、はっきり言うようにしています。あやふやな答えでは納得してくれない。だから、自分でより理解していきたくはないと考えています。

**澤田** 私は常に、授業は「ライブ」だと念じています。ライブゆえ二度と同じものはいけません。ですから、そうは見えないと言われますが、毎回かなり緊張しているんです。(笑)。講義はプレゼンテーション主体で進めますが、事前にかんまりの時間をかけてプレゼンをまとめます。また、学生たちには「つまらなかったら寝てもいい」と言います。これは「寝られない授業をしなれば」という、自身自身に対する戒めの意味もあります。また、受講生が200名を超えていても、個々の名前をできるだけ覚えるようにし、歩き回って直接話しかけます。自分が受けてみておもしろい、そんな授業が理想ですね。

**赤塚** 私は、授業とはどうあるべきかということを考えています。中学や高校と大学の

授業は違う。中学や高校では主に基礎的な知識の確認をしながら展開しますが、大学では問いかけながら一緒に考えることができます。授業のおもしろさや怖さでも共有し、みんなが学ぶことの多い授業にできればと思います。

——では先生方が若い頃、この人を師と仰ぐようになった、そんなエピソードがありましたら聞かせてください。

**田坂** かつて、宇大に笹の専門家の先生がいらした。その先生が、個人的にとっても好きでした。フレンドリーな人間性で、ドイツ語で講義をしてくれたりし、そうすると受ける側も専門家になったような気がする。ときどき盛り込む実例も、分かりやすく的確でした。

も研究者としては対等だと考えていた先生。唸らせるようなトークができたらしいと考えておられる先生も、朴訥な語り口だけれどもおっしゃっていただけることがなぜかよく理解できる先生もいらした。各様の先生と接しましたが、要はご自分がなされていることをとことん愛していらした。その意味で、教育の根底は熱意や愛情なんだと思知らされた。したね。

**澤田** 私は総じて、授業に先生の人柄がでる講義を好んで受けていたように思います。また、話術に長けた先生もそうですが、田坂先生のように板書を重視した講義形態が好きでした。ノートづくりで「生」の感じがするんです。きれいなノートをつくらずにいられない、そんな先生が大好きでした。ですから、今の自分の講義には、当時のことが多少なりとも活かされているような気がしています。

**池田** 四人の先生があげられるでしょうか。自分の学生時代は、どこか批判精神を持っていないといけないような風潮がありました。まずはそれを真摯に受け止めていただけました先生。そして研究室に入ったら、教員も学生

先進的で、いろいろな刺激をいただきました。そして、女性の生き方を応援してくれて、対等に向かい合ってくれたことに共感をおぼえました。

**田坂** 私は総じて、授業に先生の人柄がでる講義を好んで受けていたように思います。また、話術に長けた先生もそうですが、田坂先生のように板書を重視した講義形態が好きでした。ノートづくりで「生」の感じがするんです。きれいなノートをつくらずにいられない、そんな先生が大好きでした。ですから、今の自分の講義には、当時のことが多少なりとも活かされているような気がしています。

**赤塚** 私は、経済学で生活をとらえる基本を学んだ先生が印象に残っています。その先生の口癖が「あなたたちは、こんなに豊かな時代に生まれているのにもったいない。もっといろいろな可能性を追求できるはず」というものでした。授業の内容も

自分の授業は実践的なものなので「教育実習で役に立った」というような話を聞くと、とてもうれしくなりますね。

**池田** 私はいつも反省ばかりなんです(笑)。例えば学生たちが2年生から3年生になったとして、ほぼ同じメンバーと向かい合います。でも、前年の自分の授業って(心に)残っていないのかな、と思うときがあります。だから、反省することで次回への情熱が傾けられるのかもしれないですね。もうひとつ、授業はキャッチボールが理想だと思っています。もちろん少数人数だとうまくいくのでしようけれど、諸事情でなかなかそうはいかない。どうしてもフォロワーしなくてはならない学生が出てきますが、その中にも真面目な子は多い。彼らをどうやってフォローできるか、それがこれからも課題です。

——とても参考になりました。先生方には更に教育を支えていただければと思います。本日はありがとうございました。

※FD(Faculty Development)とは、教員が授業内容、方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称です。

- 平成17年度  
ベストティーチャー賞受賞者
- 若山俊介 留学生センター 副センター長 教授
  - 赤塚朋子 教育学部 家政教育講座 助教授
  - 澤田匡人 教育学部 学校教育講座 講師
  - 藤原浩己 工学部 建設学科 助教授
  - 池田 宰 工学部 応用化学科 教授
  - 足立修一 工学部 電気電子工学科 教授
  - 宇田 靖 農学部 生物生産科学科 教授
  - 田坂聡明 農学部 森林科学科 教授



# キャンパス みどころ MAP

## 峰キャンパス

〒321-8505 宇都宮市峰町350

## INFORMATION

### 【国際学部】

- 国際学部社会人特別選抜学生募集  
広く社会人を学部学生として受け入れるため、小論文・英語読解・面接などによる特別選抜を実施しています。
  - 国際学研究所社会人特別選抜学生募集  
家庭の主婦などの家事従事者を含めた社会人を、大学院修士課程の学生として受け入れるために、研究計画書による口述試験・書類審査等の特別選抜を実施しています。勤務条件や通学時間を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土日等にも開講しています。
  - 教育訓練給付制度の講座指定（国際社会科学研究専攻・国際交流研究専攻）  
国際学研究所国際社会研究及び国際交流研究専攻生で、雇用保険の被保険者の期間が3年以上の方、又は3年以上で離職後1年以内の方は、修士課程修了後、大学に支払った経費に対し20万円の支給を受けられます。これは、雇用保険の新しい給付制度です。詳細はハローワークへお問い合わせ下さい。
  - 国際学部・国際学研究所講演会・シンポジウム  
年数回、その時々に応じた講演題目で学生・教職員を対象に学外の多様な方の講演会等を開いています。一般の方も参加することができます。
  - 国際学研究所サテライト公開授業  
ローカルな問題をグローバルな視点で捉えなおし、地球市民の立場から検討する公開授業を年2回学外で実施しています。一般の方も参加することができます。
- 問い合わせ先 国際学部 TEL028-649-5164 FAX028-649-5171  
E-mail koksomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【教育学部】

- フレンドシップ事業（児童・生徒）  
学生と子どもたちが直接ふれあい、体験を通して実践的に学ぶ機会を提供しています。科学実験、野外活動、環境教育、まちづくり活動を行っています。
  - 授業見学（高校生及び保護者）  
高校生に教育学部をよりよく知ってもらうために学部の授業見学を秋に開催しています。なお、説明会は本学教員が、直接高等学校に出向いて実施することもできます。
  - 大学院教育学研究科授業の夜間・休日等開講  
大学院教育学研究科では、現職教員や社会人の専修免許取得や自主的な研修に役立てるため、多数の授業科目を夜間、土・日曜日、長期休業期間に開講しています。特に、カリキュラム開発専攻と障害児教育専攻は、夜間、休日等の授業を履修することによって、勤務を続けながら修了することが可能です。
- 問い合わせ先 教育学部 TEL028-649-5242 FAX028-649-5244  
E-mail kiyisomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【農学部】

- 「お米とミルクと果物の不思議体験教室」（小・中学生）  
春から秋にかけて4～5回実施しており、田植えや摘果から収穫まで、また牛の乳搾りなども体験できます。
  - 「クローン牛づくりにチャレンジ！」  
実験室では、牛受精卵の顕微鏡操作や凍結を、牛舎では牛受精卵の子宮への移植などを体験します。
- 問い合わせ先 附属農場 TEL0285-84-2424 FAX0285-84-2425  
E-mail fuznouji@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
- 「君も私も森の博士！」（小・中学生）  
夏休みに1泊2日で実施しており、森林（里山）における動物観察、林業体験などお自然との触れ合い体験ができます。
- 問い合わせ先 附属演習林 TEL0287-47-0158 FAX0287-47-0366  
E-mail fuznouji@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【野生植物科学研究センター】

- 公開セミナー（一般市民）  
野生植物や雑草が私たちの生活にどのような影響を与えているかについて、年間8回程度のセミナーを実施しています。
  - シンポジウム（一般市民）  
著名な国内外の研究者を招聘し、野生植物に関するシンポジウムを開催しています。
  - 施設一般公開（高校生・一般市民）  
センター研究棟、温室の見学及び雑草とストレス耐性植物の紹介など一般市民や児童生徒を対象に実施しています。また、「雑草何でも相談室」を設けて雑草に関する相談に応じています。
- 問い合わせ先 野生植物科学研究センター  
TEL028-649-5148 FAX028-649-5155  
E-mail shibuya@crwp.mine.utsunomiya-u.ac.jp

### 【遺伝子実験施設】

- 遺伝子実験施設セミナー（一般市民、学生、教職員）  
遺伝子関連の研究をしている学内教員や国内外の研究者が講演します。
  - シンポジウム（一般市民、学生、教職員）  
地元企業の研究者と学内教員が連携している研究について講演します。
  - 施設一般公開（高校生、一般市民）  
施設の見学を、随時、受け付けております。
  - バイオテクノロジー体験講座（高校生）  
DNAに関する講義と実験を行います。
- 問い合わせ先 遺伝子実験施設 TEL028-649-5527 FAX028-649-8651  
E-mail mori@cc.utsunomiya-u.ac.jp

### 【附属図書館】

- 附属図書館では、地域に開かれた知的拠点として、当館が所蔵する教育研究のために収集した貴重な学術情報資源を、地域の皆様の生涯学習を支援するために広く開放しています。
- 問い合わせ先 附属図書館総務係 TEL028-649-5130 FAX028-649-5140  
E-mail tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



図書館  
アトリウム

たくさんの本が置いてある。  
自習スペースも充実。  
アトリウムは光が差して開放的!!  
トイレもきれいっっ!!



「ウダイカンバ」という  
名の木がある!!  
宇大のための木!?



グリーンパーク

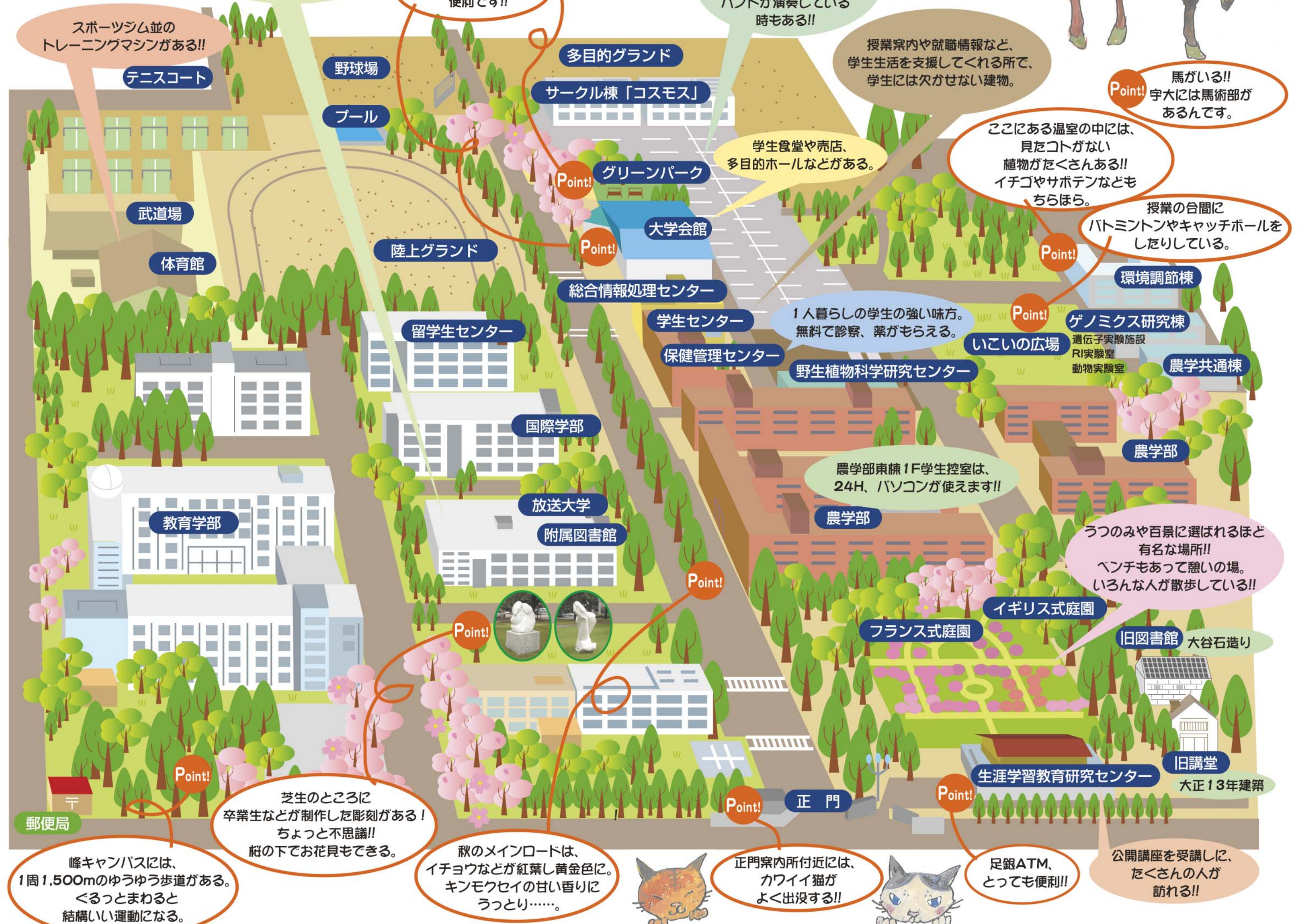
天気の良い日は  
みんな集まって、  
お昼ごはんやおしゃべり!!  
バンドが演奏している  
時もある!!



フランス庭園



Point! 馬がいる!!  
宇大には馬術部が  
あるんです。





# キャンパス みどころ MAP

## 陽東キャンパス

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2

## INFORMATION

### 【工学部】

- 応用化学公開セミナー（一般市民・教員など）  
大学院生をはじめとする研究のポスター発表や講演会、交流会を通じて、応用化学の教育・研究内容を公開しています。
  - 工学部体験教室（小学生～高校生）  
実験や授業をとおして身近に工学に触れることによる知的啓蒙を進めています。
  - 産学連携シンポジウム（一般市民）  
産学の連携の積極的推進を図るためのシンポジウムを開催しています。
  - エネルギー・環境科学公開・国際シンポジウム（学生・教職員・一般市民）  
エネルギー問題、環境問題に関して外国人講師も含めた公開・国際シンポジウムを開催しています。
  - 最先端技術特別講演会（学生・教職員・一般市民）  
情報工学分野を中心とした最先端技術を外部の著名な方々を講師に招いて、分かりやすく解説します。
  - 工学研究科社会人特別選抜入試制度  
社会人を大学院博士前期課程及び博士後期課程の学生として受け入れるために、研究計画書による口述試験・書類審査等の特別選抜を実施しています。勤務条件を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土曜日等にも開講しています。
  - 工学研究科外国人留学生特別選抜制度  
留学生を大学院博士前期課程及び博士後期課程の学生として受け入れるために、研究計画書による口述試験・書類審査等の特別選抜を実施しています。
- 問い合わせ先 工学部 TEL028-689-6005 FAX028-689-6009  
E-mail kousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【地域共生研究開発センター】

- 金曜イブニングセミナー（一般市民、企業人、学生、教職員）  
最先端の科学技術や社会の出来事に関する話題を、分かりやすく講義し、楽しみながら学ぶ機会を提供しています。年2～4回開催。
  - 各種講演会、研究会（一般市民、企業人、学生、教職員）  
研究会の成果発表会や時代にマッチした技術、トピックスに関する研究会を開催しています。
  - VBL部門成果発表会（一般市民、企業人、学生、教職員）  
大学院VBL部門の研究プロジェクトの研究内容を大学内外に発表し、産学連携の促進の場を提供しています。
  - 技術相談、共同研究、ベンチャー起業家の窓口
- 問い合わせ先 地域共生研究開発センター TEL028-689-6316  
E-mail chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【知的財産センター】

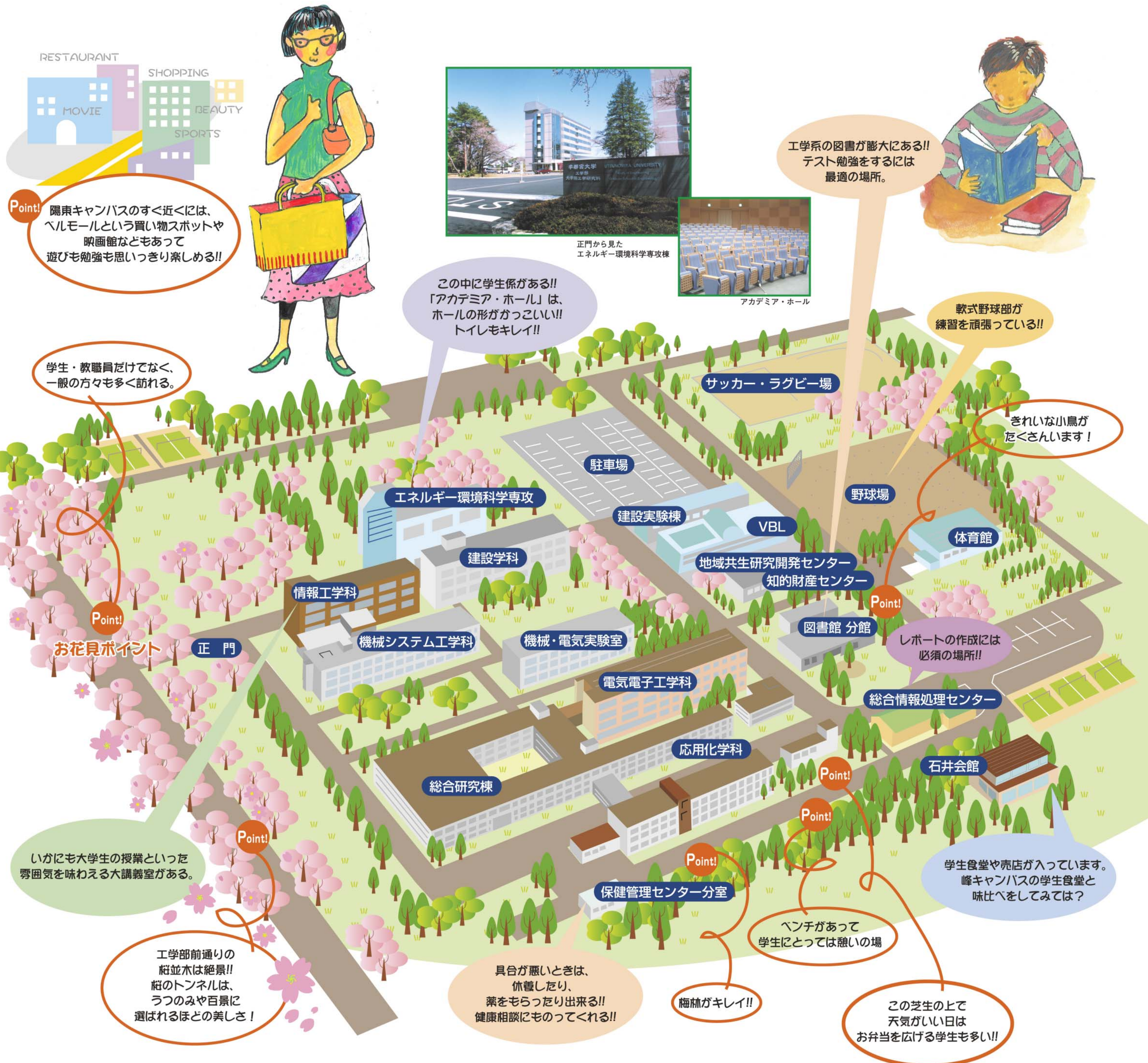
- 知的財産権合同セミナー（一般市民、企業人、学生、教職員）  
知的財産権に関する教育・啓蒙の場を提供しています。
  - 特許明細書作成セミナー  
特許明細書の書き方を分かりやすく解説します。
  - 知的財産権セミナー（学生、教職員）  
特許情報検索セミナー、知的財産権セミナー、討論会を、随時、開催しています。
  - 特許相談（一般市民、企業人、学生、教職員）  
特許出願相談、職務発明相談、共同研究契約など知的財産に関するあらゆる相談に応じています。
- 問い合わせ先 知的財産センター TEL028-689-6316  
E-mail chizai@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

### 【総合情報処理センター】

- 情報通信関係特別講演会  
情報技術の新しい動向や最新技術についての講演会を実施しています。
- 問い合わせ先 総合情報処理センター TEL028-689-6340 FAX028-689-6342  
E-mail sec@cc.utsunomiya-u.ac.jp

### その他にも宇都宮大学には様々な取組があります

- 栃木科学・技術シンポジウム（企業人・一般市民）  
栃木県や宇都宮市・県産業振興センターなどと共に新しい科学技術についての普及啓蒙を図るために、講演会やパネル討論などを実施しています。
  - 科目等履修生制度  
生涯学習の推進を図ることを目的とし、社会人等に対して学習機会を拡大する観点から設けられた制度です。特定の授業科目の履修を希望する者に対して、授業に支障のない範囲において選考の上、授業科目の履修を許可しています。また、特定の専門事項について研究指導を希望する場合には、履修生制度があります。
  - 大学祭（峰ヶ丘祭）  
毎年11月に、大学祭実行委員会（学生団体）主催による大学祭が実施され、本学の教育・研究、サークル活動などの各種の展示、研究発表、活動報告などを公開し、また各種シンポジウム、模擬店などを開催しています。
  - 社会人特別選抜入学試験  
一度社会に出て、専門分野の必要性から大学入学を希望する人、また生涯学習という観点から、定年を迎え再教育を受けて知識の習得を目指す人を受け入れています。
- 問い合わせ先 入学課 TEL028-649-5405







## 水掛菜

—きれいで豊かな湧水が育む栃木の食材—

温帯モンスーン気候の日本は、豊かな降水量に恵まれています。なかでも、栃木県北部の山間から流れ出る豊かな水は、全国的に見てもとても質の高い水です。宇都宮に引っ越してきた人の中には、水道料金の高さに驚いた人もいるかもしれませんが、飲んでみるとその美味しさに驚くのではないのでしょうか。日光、今市周辺では、この上質の水（地下水）を活用して、モヤシや豆腐を生産する食品工場があります。このように、宇都宮大学のある栃木県は、日常生活や工業生産において豊かできれいな水の恩恵を受けているところです。今回のスローフードの紹介は、きれいな水が湧き出るところでしか栽培できない、日光、今市の「水掛菜（ミズカケナ）」の紹介です。



宇都宮から車を使うと、1時間もかからずに日光に隣接する今市に着きます。このあたりまで来ると宇都宮の町並みの雰囲気が薄れてきます。そして、立派な杉並木道にさしかかると、日光東照宮のお膝元といった雰囲気が広がってきます。宇都宮から出かけた場合、今市の中心部から杉並木道を外れて大谷川沿いへ行くと、美しく整備された「日光だいや川公園」があります。この公園は、オートキャンプ場をはじめ、フィールドアスレチックコースや体験学習施設などがあり、自然の中で家族一緒に楽しく過ごせる場所です。ここから眺める日光連山の雄大な景色は素晴らしく、都会にはない空気の高さを感じることができます。



日光だいや川公園から見た日光連山

体験学習施設近くでは、水掛菜が栽培されています。水掛菜は、水を掛け流しながら栽培する冬菜であることからこのような名前が付いています。日光市野口地区が栽培場所の中心であるため、「野口菜」とも言われています。水掛菜の栽培方法は、冷え込みの厳しい冬には栽培が難しい新鮮な青菜を作るための昔からの方

法です。畑の畝間（うねま）に湧き水を流すことにより、12℃程度になる水の温度が水掛菜の成長を早めます。水を掛け流すのは、十分な酸素を供給して根に活力を与えると同時に、水が澱んで凍り付き、茎が痛むことを防ぐためです。水の流れが止まってしまうと、水掛菜の茎が痛むだけでなく、水掛菜が酸欠状態に陥り、その葉が黄色く変色することもあるそうです。そのため、豊富な清水が湧き、砂質土壌で排水が良いところのみ、アクがなく風味豊かな水掛菜ができます。さらに、冬の寒さは水掛菜の野菜の甘さを豊かにします。このような環境で育てられた水掛菜は、ビタミン・ミネラルが豊富で、カルシウムはホウレンソウの2倍あるとされています。

日光市野口地区内の岩戸沢には、昔から、豊富な清水が湧き出て小川となり、下川原を経て大谷川に合流している清水川があります。久能山東照宮より日光東照宮に亡骸を納めた棺を移し、徳川家康公が神霊になったのが1617年です。したがって、1600年頃、東照宮造営のために久能山東照宮から来た人たちが、静岡方面で富士山からの豊富な湧水によって栽培されていた水掛菜の種子を持ち寄ったのが、水掛菜栽培の始まりではないかと考えられています。とすると、日光、今市の水掛菜は、すでに栃木に移ってから400年近くが経過した野菜です。他のアブラナ科との交雑の恐れが少ない環境と、地元で栽培を続けられている方々の努力によって、日光、今市では、昔ながらの水掛菜の栽培が続けられています。水掛菜はその質の高さから、昔は皇室へ献上されたこともあったそうです。



日光だいや川公園内の水掛菜の栽培

水掛菜の栽培は、セリ、ワサビの栽培のようにきれいな湧水が重要なため、育てる場所が限定されてしまう野菜です。そのため、昭和24年12月26日に起こった今市地震（マグニチュード6.4）により湧水が十分に確保できなくなると、栽培農家が極端に減少しました。また、幾度となく襲った台風の被害によっても湧水の確保が困難になり、栽培農家が減少しました。そのため、最盛期には3ヘクタールあった栽培面積が、今は日光だいや川公園の一部として公園が管理している6アール、近くの農家が管理している4アールの、合計10アール

ルだけになっています。収穫量は全部で3～4トン程度。とても農産物として流通させるだけの量にはならないそうです。

水掛菜の栽培指導者の福田常雄さん（日光五ヶ村用水組合長）から伺った栽培方法の概要は次の通りです。8月下旬から9月上旬に耕耘碎土整地を行い、肥料・石灰窒素を全面散布、9月上旬から10月上旬に播種作業を行います。砂っぽい土地なので、堆肥は10アールあたり約4トン必要だそうです。水掛菜は気温の低くなる時期に栽培するので、病気の発生はほとんどありません。しかし、連作による障害、水による伝染によって根コブ病が発生するので、いくつかの対策が必要になります。10月下旬に2回ぐらいの間引き作業、10月下旬から11月中旬に生産状況を見て追肥、11月下旬から12月上旬から水掛作業をはじめ、12月下旬から3月上旬に収穫します。福田さんによると、このような水掛菜の栽培方法の伝承は、栽培規模の縮小や担い手の不在により危機的な状況にあるということです。日光だいや川公園内の水掛菜の栽培管理は、地元の5人のメンバーによる指導によって続けられています。しかし、将来的に水掛菜を育てる人がいなくなってしまうと、栽培法の伝承は難しいということでした。

水掛菜の料理について伺うと、茹で上げて醤油で食べるのが一番美味しいということです。特にゴマ和えは緑色が美しく、風味が良いそうです。私も頂いた水掛菜を豚ひき肉炒めで食べてみたところ、茎も葉もしんなりになって、クセがなく、いろいろな料理にも合う美味しい食材であることに改めて驚かされました。



日光連山から流れ出るきれいで豊かな湧水

豊富な清水が湧き出るところで何百年も栽培が続けられている水掛菜は、栃木の貴重なスローフードだと思います。そして、栃木の水の豊かさについて改めて驚かされます。美味しい水掛菜の栽培が続けられるためには、きれいな湧水の確保、冬の寒さ、そしてその栽培方法をきちんと伝えていくことが必要です。この貴重な食材を栽培し続けることは、栃木の自然やそこで生きる人々、そして地球環境のことを考える良いきっかけになるように思います。

日光だいや川公園の体験学習施設では、この水掛菜を使った料理の紹介が催されることがあります。また、この体験学習施設の事務所を訪ねていただくと、運がよければ、水掛菜の種を分けてもらえるそうですよ。興味のある方は、是非一度、足を運んでみてはいかがでしょうか？

文／農学部助教授 野口良造





こんにちは！ 4月になり、新しい出会いの季節となりました。今回は、新入生歓迎特集です。新入生のこれからはじまる大学生活への思い、そして在校生から新入生へのメッセージを集めてみました。

# 学生アンケート

## 宇大生は



## 新入生からひとこと ～大学生活への期待や野望～

- 留学して自分を磨きたい！！ (国・♀)
- 日本全国旅行に行きたいなあ～ (農・♀)
- 友達になってください！！めざせ友達100人 (国・♂)
- サークルに入っていっぱい遊びたい！ (工・♂)
- 夢を持って勉強してね！ (農・♀)
- バイトしてお金を貯めたい！ (農・♀)
- 遊んで遊んで遊びまくる (農・♂)
- 勉強は結構大変だよ！ (工・♂)
- 彼女を作るぞ！ (工・♂)
- ドキドキ・ワクワクの4年間♥ (国・♀)
- ようこそ宇都宮大学へ♥ (農・♂)
- 母校に帰って恩師に恩返しをしたい！ (教・♀)
- 一緒にガンバロー (教・♂)
- オーストラリアに行きたい！ (国・♀)
- ウチのサークルに遊びに来てね！ (工・♂)
- 微生物の研究をしたい♥ (農・♂)
- 新歓に来てぜひウチのサークルに入ってね♥ (農・♀)
- わからないことがあったら、何でも聞いてね！ (国・♀)
- 留学に行きたい子が多いんだね！外国にはいっぱい行くとイイヨ♥ (国・♀)

## 在校生から 新入生へひとこと



アンケートにご協力して下さったみなさん、ありがとうございました。

文／農学部4年 中山未来・農学部2年 廣田真人  
イラスト／教育学部3年 赤川伸吾（漫画研究会）

- 陽東キャンパスで待ってるよ！ (工・♂)
- 早く宇大に慣れて、充実した4年間を送ってね！ (農・♂)
- 2年生になれるかな？ (工・♂)
- やっぱ宇大だよ～！ (農・♂)
- 仲良くしようね♥ (教・♀)
- 「ド」環境について勉強したい！ (教・♂)
- 一緒にバンド組みませんか？ (農・♂)
- サークル何にしようかな？ (農・♂)
- 国際の子いらっしゃーい！ (国・♀)
- ノリのイイ子・話好きな子大歓迎♥ (国・♀)
- みんなが入学してくるのを待ってるよ～♪ (農・♀)
- 聴講届けは大切だー (工・♂)
- 誰か～塾の講師やりませんか？ (工・♀)
- 大学生活を楽しまうよ♥ (工・♂)
- やっぱこれからは農学でしょう、笑っ (農・♂)
- 大学のレベルについて行けるかな？ (工・♀)
- 革命を起こす♥ (農・♂)
- 人見知りを無くしたい！ (農・♀)
- 免許が早く欲し～い♥ (国・♀)

### INFORMATION

#### 奨学金を申請しよう

平成18年度独立行政法人日本学生支援機構奨学金（在学採用）の申請説明会を開催します。奨学金の申請書を配付しますので、希望者は必ず出席してください。

**陽東キャンパス** 日時 4月20日（木）12:10～  
場所 アカデミア・ホール

**峰キャンパス** 日時 4月21日（金）12:10～  
場所 大学会館2階多目的ホール

●お問合せはこちらまで  
宇都宮大学 学生支援課 TEL.028-649-5102

#### サークルを設立しよう

平成18年度に課外活動団体（サークル）を設立する場合は、下記により手続きを行ってください。また、規程に定める条件を満たす課外活動団体は、認定課外活動団体として認定を受けることができます。認定課外活動団体は、課外活動共用施設への入居及び施設・備品等の利用について、優先して便宜が与えられます。

届出期間 5月1日（月）～ 5月31日（水）

届出場所 学生支援課

届出認定の期間 1年間

その他

前年度に届け出た課外活動団体であっても、新たに届け出を行なわなかった場合は解散したものと取り扱いますのでご注意ください。



●お問合せはこちらまで  
宇都宮大学 学生支援課  
TEL.028-649-5097



## オープンキャンパス

2006年7月15日(土)

### 大学ってどんなところ？

今年も「オープンキャンパス」を開催します。皆さんのお越しをお待ちしております。

日時：7月15日(土) 9:30～

場所：峰キャンパス(国際学部・教育学部・農学部)

陽東キャンパス(工学部)

内容：模擬授業、実験体験、研究室・施設公開、個別入試相談コーナー、サークルデモンストレーションなど

入場無料、事前の申込みは必要ありません。

### 宇大には どんな授業があるのかな？

学部ごとに様々な分野の模擬授業を用意しています。わくわくするような授業に、きっと出会える！



学生スタッフがサポートします！

「教室の場所が分からない!」「どこから見たらいいのかな!」そんな時は気軽に学生スタッフに声をかけてください!



サークルのデモンストレーションを見て、学食を利用して、宇大生のキャンパスライフを体験してください!

パネル展示、個別相談コーナーもあります。



●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 総務課企画広報係

TEL028-649-8649/FAX028-649-5026 E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

## 宇都宮大学教育学部 附属養護学校 運動会

ダンス、4色対抗リレー、団体競技、応援合戦  
小学部児童、中学部・高等部生徒が演技を披露します。

日時：6月10日(土) 9:20～14:20(雨天順延)

場所：宇都宮大学教育学部附属養護学校校庭



入場無料

●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 教育学部附属養護学校(宇都宮市宝木町1-2592)

TEL028-621-3871

## 2006「ITと社会」発表コンクール

—高校生によるIT社会への提言— 発表募集

日常生活での体験に基づいた情報技術、情報技術と個人、社会との関わり方などについての主張を、これからの社会を担う高校生の皆さんから広く募集します!

■応募期間：5月1日(月)～6月9日(金) ■応募資格：高校2、3年生

【発表コンクール】

■開催日：8月4日(金) ■場所：宇都宮大学工学部 アカデミア・ホール  
コンクールの聴講は入場無料、事前の申込みは必要ありません。

入場無料

※なお、コンクールで高い評価を受けた発表者は、宇都宮大学工学部情報工学科のAO入試への出願要件の1つとして利用できます。AO入試については、6月末ごろ発表予定の「宇都宮大学AO入試学生募集要項」をご覧ください。

●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 工学部情報工学科「ITと社会」発表コンクール実行委員会

TEL/FAX028-689-6265 E-mail itcon@is.utsunomiya-u.ac.jp

## 作業作品販売



陶芸品、織物・縫製品、木工製品など高等部生徒が心をこめて制作した作品を販売しております。

販売会場：

ラパーク長崎屋宇都宮店4階  
フリーマーケットボックス  
(宇都宮市馬場通り2-3-12)

●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 教育学部附属養護学校高等部

(宇都宮市宝木町1-2592)

TEL028-621-3871

## 平成18年度 公開講座

5月10日(水)  
10:00から受付開始!

公開講座はどなたでも受講できます。最新の話題に関する講座から、語学、実技まで、豊富な内容で開催いたします。



詳しくは、HPをご覧ください。

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/syougai/centerhp/index.htm>

●パンフレット請求・お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 生涯学習教育研究センター

TEL028-649-5144/FAX028-649-5145

(10:00～16:00 土日祝祭日除く)

## 出張講義

宇都宮大学の授業を聞いてみたい!!

宇都宮大学では、日々、個性あふれる授業が行われています。大学ならではの専門的な話題を、身近なテーマに沿って、高校生や一般の方にも分かりやすくお届けいたします。

「英語コミュニケーション力をつける効果的な学習法」  
「今どきの子ども、今どきの学校—学ぶことの意味を考える—」

「地球環境と建築」

「カラスとヒト」

……様々なテーマの講義を用意しています。

講義の詳細内容はHPをご覧ください。

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/lecture/lecture.html>

●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学 総務課企画広報係

TEL028-649-8649/FAX028-649-5026

E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



# 研究 Keyword



図1. 海洋研究開発機構の地球深部探査船「ちきゅう」 [JAMSTEC提供]

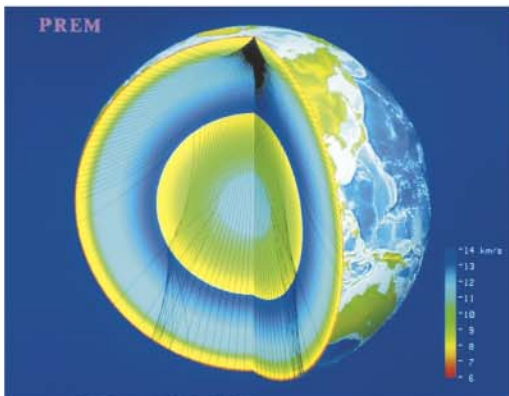


図2. 地球内部の地震波速度構造 [吉井敏彦氏 (元東京大学教授) 提供]

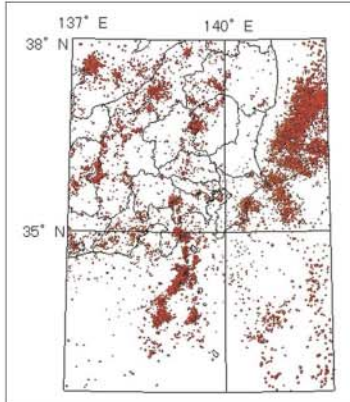


図3. 関東地方の地震分布 (深さ30kmより浅い地震) [総理府地震調査研究推進本部 栃木県西部に活発な活動が見られる]

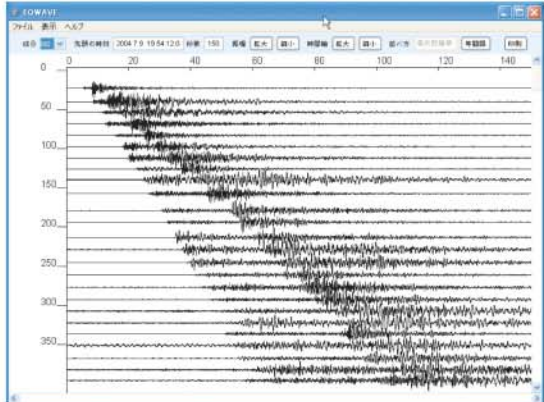


図4. Hi-netのデータを用いた教材 P波とS波が異なる速さで伝わっている様子が示されている



### PROFILE

東北大学理学部天文及び地球物理学科卒業/東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻博士前期課程修了・理学博士/専門分野: 固体地球物理学・理科教育学

宇都宮大学教育学部理科教育講座助教授 伊東 明彦

## 地球の内部を探る

### 固体地球物理学の研究

教育学部 伊東 明彦

先頃、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が、地球から何億kmも離れた宇宙空間で小惑星イトカワへの着陸を成功させた。一般人の宇宙旅行ももう始まっている。宇宙は人類にとって、どんどん身近な存在になりつつある。ところがその反面、地球自身は人類の侵入をかたく拒み続けている。宇宙には何億kmも行けるのに、地球の内側に向かっては高々3~4km掘り進むのがやっとなのである。地球をリングに例えれば、やっと皮を通りぬけたかどうかといった深さである。

昨年、日本の地球深部探査船「ちきゅう」が就航した(図1)。「ちきゅう」は海底を最大7・5kmの深さまで掘って岩石を採取できる。地球の半径6400kmと比較するとまだまだ皮の部分には達しないのだが、この深さまで掘れると東海地震など海溝沿いに発生する巨大地震の震源の岩石を直接採取することができ、これからの成果が期待されるのである。

「ちきゅう」が就航した(図1)。図3に示すように、栃木県西部では活発な地震活動が続いている。あまり知られていないのは、ほとんどがマグニチュード2より小さい微小地震だからである。そんな小さな地震を調べて何が分かるのかというと、これが日本列島の生い立ちと密接に関係していると考えられている。最近の研究により、微小地震の分布や火山の分布と、地下構造の不均質性が密接に関連していることが明らかになってきた。例えば、栃木と群馬の県境には活火山である日光白根山が存在するが、図3に見られるような微小地震の震源は、日光白根山に近づくにつれてその深さが浅くなっていく。これは日光白根山の直下に熱い岩石があり、地震が起きにくくなっていることを示している。このように微小地震や地下構造の研究によって、日本列島の構造や成因についてのより詳細なシナリオが描かれつつある。

微小地震を研究するためには、高感度の地震計を高い密度で設置しなければならない。一昔前までは、このような観測網を作るには大変な労力と研究資金を必要とした。1995年の兵庫県南部地震後に整備されたHi-net観測網は、このような研究状況を刷新する可能性を持つ画期的なシステムである。日本全国に、ほぼ均一に800点ほどの地震観測点が設置され、地面のゆれを常時監視している。集められたデータはすべてインターネットで公開されており、誰でも簡単な登録をするだけで使うことができる。

Hi-netの効用は、地震学の専門分野の研究のみではない。現在筆者らは、Hi-netのデータを用いた学校教育のための地震教材の開発と、その普及にも取り組んでいる。例えば、Hi-netの観測点で記録された地震の波形を震源から近い順に並べると図4のようになる。これを見ると、震源から速さの違う2つの波が射出され、周囲に伝わっていくことが分かる。中学校で学習する初期微動(P波)と主要動(S波)である。P波とS波の伝わり方の違いが、実際のデータからはっきり見えるのである。

Hi-netの効用は、地震学の専門分野の研究のみではない。現在筆者らは、Hi-netのデータを用いた学校教育のための地震教材の開発と、その普及にも取り組んでいる。例えば、Hi-netの観測点で記録された地震の波形を震源から近い順に並べると図4のようになる。これを見ると、震源から速さの違う2つの波が射出され、周囲に伝わっていくことが分かる。中学校で学習する初期微動(P波)と主要動(S波)である。P波とS波の伝わり方の違いが、実際のデータからはっきり見えるのである。

Hi-netの効用は、地震学の専門分野の研究のみではない。現在筆者らは、Hi-netのデータを用いた学校教育のための地震教材の開発と、その普及にも取り組んでいる。例えば、Hi-netの観測点で記録された地震の波形を震源から近い順に並べると図4のようになる。これを見ると、震源から速さの違う2つの波が射出され、周囲に伝わっていくことが分かる。中学校で学習する初期微動(P波)と主要動(S波)である。P波とS波の伝わり方の違いが、実際のデータからはっきり見えるのである。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。努力の報われる日が来たことを心より喜び申し上げます。とは言い、一方でこれまでと違った学生生活、特に初めて親元を離れて一人暮らしを始めた方にとっては、不安も多い日々かと思えます。でも心配はいりません。今号で特集しているように、宇都宮大学には、すてきな先輩、みなさんをサポートしてくれる心強い団体・サークル、そして言うまでもなく、みなさんを厳しくも優しく鍛えようと、てくすねを引いて待っている数多くの教職員がいます。それに、付け加えさせていただきます。それなら、みなさんの生活に、ちょっぴりは役立ちたいと願っているこのUU Nowがあります。

■広報室では、皆様のお待ちしております。ご意見・ご要望などを寄せください。  
【宛先】  
宇都宮大学 総務部 総務課 企画広報係  
〒321-8505 宇都宮市峰町350  
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026  
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

- 企画・編集 宇都宮大学広報室 UU Now 第5号編集委員
- 編集長 吉田 和文
- 編集委員 中山 未来 農学部4年 廣田 真人 農学部2年 石浜 昌宏 国際学部教員 佐々木英和 生涯学習センター 池田 幸 工学部教員 野口 良造 農学部教員 青木 正克 総務部職員 国府田 治 総務部職員 田崎 正憲 総務部職員 五月女優子 総務部職員 久野 貴史 総務部職員 小島 啓重 学務部職員 茂木 博 学術研究部職員

しくなければ幸いです。これまでの5号がみなさんの生活を少しでも豊かにし、宇大を見る目を少しでも暖かいものにしてきたら、これに越した喜びはありません。みなさまのご愛読に感謝申し上げます。編集長が替わっても、宇大がこれからも日々発展し続けるように、UU Nowも、みなさんの声で発展を続けることと思っております。これまで以上のご声援をお願いします。

編集後記  
2006.Spring  
吉田 和文